



核物質防護業務の改善措置活動に取り組んでいます

当発電所の防護設備における不適切事案については、現在、実施計画(アクションプラン)に基づき、順次取り組みを進めています。

9月15日(火)には、原子力本部長である青木常務らが来所し、核物質防護設備が正常に機能することを確認する定例試験の一つである「警報表示確認試験」について、体制や手順、実施済みの試験記録および試験の実施状況を確認しました。

現場では、設備や運用状況について、核物質防護課員から説明を受けるとともに、質疑応答を交えながら改善に向けた取り組みの進捗状況を確認しました。あわせて、核物質防護課の若手社員の業務実施状況についても確認しました。



核物質防護課員の説明を受けながら現場を確認する青木常務(右から2番目)

安全対話を実施しました

9月16日(水)、青木常務と構内協力企業の管理者が、安全確保に向けた取り組みや現場で感じている課題などについて意見交換を行いました。

対話では、各社が日頃から実施している安全活動や安全意識向上に向けた取り組みなどを共有したほか、現場が抱えるさまざまな課題について率直な意見が交わされました。

青木常務は、日頃から安全活動に取り組む協力企業の皆さまへ感謝の意を伝えるとともに、現場の声を今後の業務改善や安全文化の醸成につなげていくことの重要性を共有しました。参加者は互いの取り組みや課題への理解を深め、安全最優先の意識を改めて確認しました。



青木常務と構内協力企業の管理者との安全対話

東通小学校で「東北電力スクールコンサート」を開催しました

9月10日(木)、東通小学校体育館において、「東北電力スクールコンサート」を開催しました。

当日は、国内外で幅広く活躍されているバイオリニストの小林 絵美里さんとピアニストの久保美結さんをお招きしました。児童になじみのある「ジブリメドレー」や「東通小学校校歌」のほか、情景が目に浮かぶクラシックや映画音楽などを演奏していただきました。演奏の合間には、クイズを交えながら楽器の特徴を紹介する時間も設けられ、児童たちは楽しみながら音楽への理解を深めていました。

会場では、ジブリの曲を口ずさんだり、リズムに合わせて体を動かしたりする姿も見られ、生演奏ならではの迫力と美しい音色を楽しんでいました。また、校歌の演奏では、バイオリンとピアノの伴奏に合わせて、児童たちの元気で明るい歌声が体育館に響き渡りました。



息の合った演奏と美しい音色で会場を魅了

地域を知る活動「東通村がつなぐ海の恵み～津軽海峡が東通村の漁業にもたらすもの～」を開催しました

9月9日(水)、東北電力あがさいホールにおいて、地域を知る活動「東通村がつなぐ海の恵み」を開催しました。

当日は、国立研究開発法人海洋研究開発機構むつ研究所長の佐々木 建一氏を講師にお招きし、津軽海峡の特徴や海と地域とのつながりなどについてご講演いただきました。参加者は、国内でも屈指の漁場として知られる津軽海峡と東通村の漁業との関わりや、豊かな漁場が形成される仕組み、海流の役割などについて理解を深めました。会場では、地域の自然環境と漁業とのつながりに関心を寄せながら、熱心に聴講する姿が見られました。



熱心に説明を聴く参加者

トントウビレッジ イベントのお知らせ

「トントウのオータムフェスタ～2026～が開催されます！」

日 時：10月12日(月・祝)9:30～15:00

内 容：「名探偵プリキュア！ステージショー」や、ミラーをキラキラにデコレーションする工作コーナーなどを予定しております。また、高校生以下の皆さまには来場者プレゼントもご用意しております。

当日は、焼き鳥やピザなどのキッチンカーも集結！
詳細は、トントウビレッジのホームページをご確認ください。



ホームページはこちら！

11月の

東北電力あがさいホールイベントのお知らせ

2026東通村民カレッジ

地域を知る活動 東通村の化石と石灰岩

日 時：11月14日(土)13:30～ 参加無料、事前申し込み不要

内 容：東通村の尻屋および尻労地区には石灰岩が分布し、石灰岩からは「メガロドン」の化石が、石灰岩の割れ目などを埋めた土砂からはゾウやトラなどさまざまな動物の化石が見つかっています。これらの化石が発見された経緯や特徴、学術的価値などについて理解を深めていただきます。

講 師：青森県立郷土館 副館長 島口 天氏

問い合わせ先：Tel 0175-27-3431(立地地域課)